

Flash_UserInformation

1. 動作概要

ユーザインフォメーションエリアの書き込みを行います。
ターミナルソフトとデバッガのウォッチ機能を使用して動作確認を行います。

2. ボード設定方法

評価ボードを下記のように結線します。

CN5 1-2 CN4 29-30
 3-4

3. 各設定

スイッチ : PV1 S7

UART : UT0RXD(PE2)
 : UT0TXDA(PE3)

シリアルポート設定

ボーレート : 115200(bps)
データ : 8(bit)
パリティ : なし
ストップ : 1(bit)
フロー制御 : なし

3. 基本動作

IAR Embedded Workbenchを使用する場合はライブウォッチ、Keil µVisionを使用する場合はウォッチを使用します。
ここでは総称してウォッチと呼びます。

- (1) デバッガのウォッチに変数"GetUserInformationData"を登録し、プログラムを実行します。
ターミナルソフトに下記の文字列が表示されます。

```
*****  
FLASH User Information Area Write Example  
*****
```

- (2) スイッチS7を入力すると下記の処理が順に実行されます。
書き込みコマンドや消去コマンド発行などのFLASH制御関数をRAMに転送します。

RAM transferring.

ユーザインフォメーションエリアの消去を行います。

Erasing.

ユーザインフォメーションエリアにテスト文字列"Toshiba TPM4G9 User Information Example"を書き込みます。

writing.

書き込み完了すると下記の文字列が表示されます。

Finished.

- (3) ウォッチ登録した変数"GetUserInformationData"に
"Toshiba TPM4G9 User Information Example"と書き込まれていることを確認できます。

4. 特記事項

同じスイッチの多重押しはケアしません。